

競技注意事項

2018 レディース陸上

1 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) ユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) 走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでよい。
- (3) 走幅跳、三段跳は胸だけでもよい。
- (4) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。
ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (5) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、前方スタンド側にいる係に返却する。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場として
パロマ瑞穂北陸上競技場を最終種目の招集開始時間まで使用できる。
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3) パロマ瑞穂スタジアム2階室内雨天走路の使用は競技役員の指示に従う（4ページ参照）。
（事故防止・安全確保の措置）
- (4) 本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用できる。
- (5) 北陸上競技場において、直走路でのスターティングブロックの使用は100mHの練習を除き、110mHのスタートラインから行うこと。（事故防止・安全確保の措置）

4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、**100mスタート付近競技者ホール**に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	種目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	40分前	30分前

※棒高跳は90分前に招集開始で70分前招集完了です。

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。
- (5) リレーのオーダー用紙の提出
招集完了時刻60分前までに提出する。オーダー用紙は招集所に用意する。

5 競技場への入退場について

- (1) 入場は、すべて係の指示により行う。
- (2) 退場は、下記による。
 - ・トラック競技→フィニッシュ地点退場口から2階の雨天走路（全天候）を経て退場する。
または、スパイクシューズをぬいで1階中廊下を経て退場する。
 - ・フィールド競技→競技役員の指示・誘導による。

6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

7 トラック競技の次のラウンド進出者の決定について

- (1) 抽選を行う場合は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンスされてから10分以内に本部へ集合する。
- (2) 進出決定者は、アナウンス及び大型ビジョン、スタンド正面階段上の掲示板で発表する。

8 競技について

(1) トラック競技について

- ① すべて写真判定装置を使用する。
- ② 本大会のスタート動作における競技規則については、国内ルールを適用する。
- ③ レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける（ただし、800mについては出発係の指示による）。
- ④ 短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。
- ⑤ 100m+200m+300m+400mリレーは、第3走者（320m地点）からオープンとする。

(2) フィールド競技について

- ① フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ② フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
 - ③ 三段跳の踏切板は、**9mで行う**。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。
(競技規則第144条)

9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更することがある。)

		練習	1	2	3	4	5	6	
走高跳	一般・高校	1m35又は1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後 3cm
	中 学	1m30又は1m50	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56	以後 3cm
棒 高 跳		希望する高さで	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行う。

※棒高跳は、競技場所で「棒高跳支柱位置申請」を行う。

10 競技用器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

11 競技用靴について（競技規則 第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

12 表彰について

- (1) 各種目の1～3位には賞状を授与する。
- (2) 入賞者は成績発表後、本部表彰室に集合する。

13 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) 開門以前には立ち入らない。
- (2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張ってはならない。
- (3) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入って行わない。

(4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任をもって行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっております。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

14 その他

- (1) 本大会は大型ビジョンを活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の間違い、訂正があれば本部に申し出ること。
- (2) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ち込む場合は、競技規則に準ずる。
- (3) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (4) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (5) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）**において処置を受ける。なお、**応急処置後の治療は、本人負担とする。**
- (6) 記録証は、記録室へ400円(送料込み)を添えて申し込む。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

(7) カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校と選手の家族を除き必ず本部で許可を受けること。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

撮影者の撮影制限について

- ① 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ② **観客席での撮影禁止**をさせていただくエリアは下記の席です。
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
 - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。
- ④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。

雨天走路使用上の注意

- ① 危険防止のため、なるべく北競技場でウォーミング・アップを行うこと。
- ② レーンの使い方
 - a 図のように、外側2レーンを歩行とジョグに使用する。
 - b 内側1レーンを走行レーンとする。ただし、『北→南』の一方通行とする。
- ③ 選手・監督以外の人は立ち入らない。
- ④ スタンド、スタンド下の控え場所に移動する場合には、両サイドから歩行レーンを使用する。
- ⑤ 練習をする場合には、周囲に注意し、スピードをひかえて、怪我をしないようにする。

